

江東自転車エコライフ通信 232号

ゆっくり じっくり 地元江東区を走ろう 身体が喜ぶぞ！

◇ 江東エコリーダー養成講座 OB 会・江東自転車エコライフの会 江東区千田 13-10

第232回 楽しく自転車で走る会 (25.6.22)

木場公園・旧渋沢家住宅

猛暑の中区役所前をスタートし、木場公園に。先月は公園内にはテントがいくつもあったが、暑さのためか木陰に寛ぐ人は少なかった。バーベキューは賑わっていたが、かき氷店が気になった。都市緑化植物園の花々が元気に咲いていた。その手入れのボランティアの方々は暑さに負けず頑張られていた。日本庭園は手入れも行き届き、寛ぎの場になっていた。

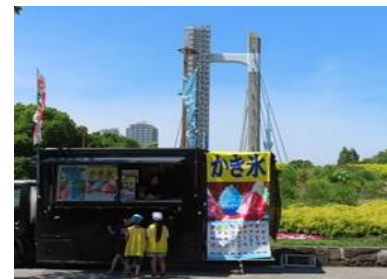
次にフジクラの千年の森へ。元気な小魚が印象的だった。さらに進み、富士屋の屋形船船泊を経て、潮見駅前を通過し、温故創新の森 NOVARE に。



区役所前からスタート



木場公園



かき氷 in 木場公園



都市緑化植物園



フジクラ千年の森



千年の森 の魚たち



富士屋屋形船



潮見駅



温 故 創 新 の 森 N O V A R E



旧渋沢家住宅看板



潮見運河ボート遊び



蟻の町のマリア像



カトリック潮見教会



教皇レオ 14 世



塩浜自転車の橋

NOVARE は温故創新の学びの場で、建物のガラスにはいろいろの工事場面の様子が書かれていた。建物も独特なアイデアが凝らされていた。その横に日本の資本主義のリーダーだった渋沢栄一の住宅が再建されていた。深川永代から一時は青森県に移築されたものが、再び深川に戻り、江東区指定有形文化財として保存されていた。昨年からは 1 万円札の渋沢栄一として有名な観光地になっている感がある。運河にはボート遊びのボートが勢いよく走っていた。潮見には蟻の町のマリアで有名なカトリック潮見教会があり、希望の巡礼が行われていた。隣のカトリック会館には新しい教皇レオ 14 世が飾られていた。そこで走る会は、フィナーレとなった。

2. 参加者の言葉から

- 先週から連日の 30° 越え、梅雨はどこに行ったのと思わせる快晴で太陽もジリジリ、あまりの暑さに豊洲巡りの予定であったが近場を回り 1 5 時半過ぎには定席での懇談に移行ノンアルコールビールで喉を潤し、涼を得た。
- とても暑い！風が強い！この風のお陰でサイクリングは爽快でした。塩見の教会・天使にラブソングを！を思い起こし、世界平和を祈りました。教会の賛美歌に心がいやされました。
- 潮見しぶさわ公園横の運河をインバウンド来日客が颯爽に水上ジェットバイクに乗って爆音を響かせながら過ぎ去り、日本での新たな夏の人気スポーツとなっているようだ。

3. 第 233 回走る会 7 月 27 日（日） 深川散歩コース 集合：16:00 江東区役所前